

ATTA-COUNTER 450シリーズ・300シリーズ (AC200V)

施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
より安全に施工していただくため、施工前には必ず本書をご一読ください。



警告

取り扱いを誤った場合に、重大な被害や死傷を伴う事故に繋がる危険があります。
これらの防止のため、以下のことを必ずお守りください。

- ・電気工事士様以外は電気工事を行わないでください。感電、漏電、火災の恐れがあります。
- ・AC200V以外の電源を使用しないでください。火災の恐れがあります。
- ・1回路あたり15Aを超える施工は行わないでください。故障、火災の恐れがあります。
- ・ATTA-COUNTERの電源は必ず専用分岐回路とし、漏電遮断器を設置してください。
- ・電気配線部は付属の端子およびアダプタ、または電気規格品以外のものを使用しないでください。発火、故障の恐れがあります。
- ・水まわりおよび常時湿気や水のかかる場所やおそれのある場所は施工しないでください。感電、漏電の恐れがあります。
- ・ATTA-COUNTERを踏みつけたり、物を上に乗せたりして無理な加重をかけないでください。故障、破損の恐れがあります。
- ・ATTA-COUNTERを分解、加工しないでください。正常な機能がでないなど故障や発火、感電、漏電、火災の恐れがあります。

施工の前に

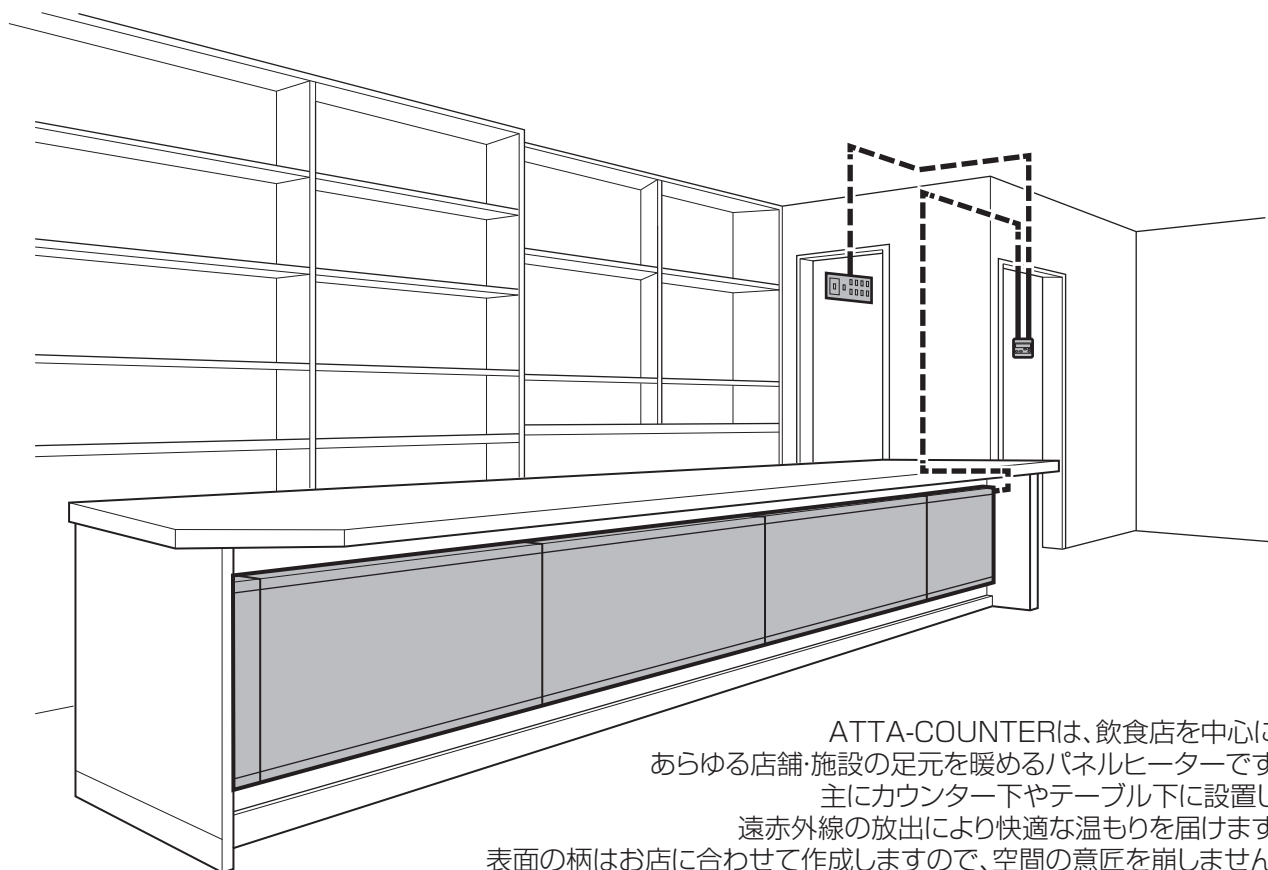
下記の項目について、施工の前に設計者および現場監督、カウンターおよび設置壁面施工業者、電気工事士と十分な打ち合わせを行ってください。

- ・設置面に釘などの突起物が出ていないことを確認して下さい。
- ・ATTA-COUNTERを使用することで周辺温度は上昇しますので熱による悪影響のあるものは周囲に取り付けしないでください。
- ・配線用遮断器、漏電遮断器(感度電流値30mA)の取付を行ってください。
- ・コントローラの取付位置は厨房内のシンクや水のかかる場所への取付はしないでください。
- ・1回路15Aを超えない容量でパネルを連結配線してください。それ以上の場合は2回路に分岐配線してください。
- ・ATTA-COUNTERの電源はAC200Vで専用回路として、他の負荷回路とは独立した専用電源としてください。
- ・ATTA-COUNTER取付時、本体を振り回したり、投げたりしないでください。損傷します。

● 電流値(突入時:20℃)について ※1回路15A以下

- ・ATTA-COUNTERの各サイズの電流値(突入時:20℃)は以下のとおりです。
- ・各回路当たりの合計電流値は、その回路に使用するATTA-COUNTERの台数を合計してください。

型番	電流値(1台当たり ※突入時のみ)
ACE-4560	1.25A
ACE-4590	1.88A
ACSE-3060	0.8A
ACSE-3090	1.25A



ATTA-COUNTERは、飲食店を中心に、あらゆる店舗・施設の足元を暖めるパネルヒーターです。主にカウンター下やテーブル下に設置し、遠赤外線放出により快適な温もりを届けます。表面の柄はお店に合わせて作成しますので、空間の意匠を崩しません。

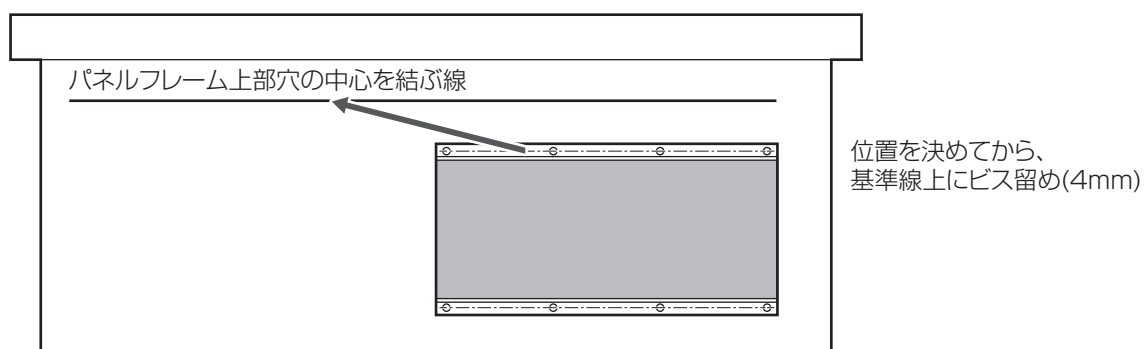
1. ATTA-COUNTER パネルの取り付け

1-1. パネルの取り付け位置決め(レーザー照射・スミ入れ)

- ・図面に基づき、敷設箇所へ基準線を入れてください(カバー分の4mmは上下ともに余裕を見てください)。

1-2. パネルの取り付け(ビス留め)

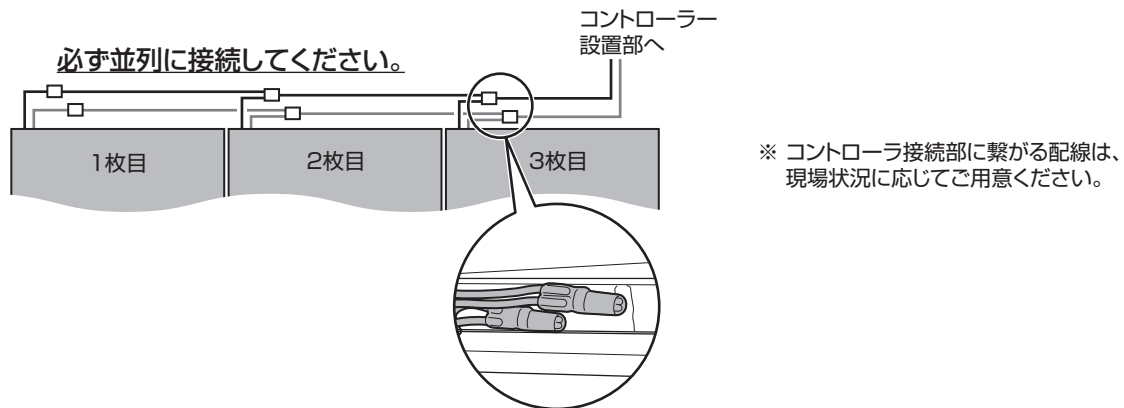
- ・基準線上にビス(4mm)で留めていきます。あわせて下部のフレーム穴もビス留めします。
- ・カウンター腰板の内側(内部)に電気配線やパイプなどの障害物がないことを確認してください。



1-3. パネルの配線接続

- ・各パネルを上または下のアルミフレーム内で並列接続してください。
- ・または電気規格内の端子、または圧着で連結してください。

配線に使用する端子及びアダプターは、電線サイズ及び電気容量に準じたものを使用してください。
それ以外のものを使用すると、発火や漏電、感電などの事故原因となります。



電気工事(以後の手順は、必ず電気工事士様が行ってください。)

2. 電源線の引き込み(電源はAC200Vのみです)

- ・ ATTA-COUNTERの元電源は、専用回路として他の負荷回路とは独立した専用電源としてください。
- ・ 配線用遮断器、漏電遮断器(感度電流値30mA)を取り付けてください。(電気設備技術基準)
- ・ コントローラの設置箇所を決定し、設置スペースを確保してください。
- ・ コントローラの設置は、操作しやすい場所に設置してください。(厨房シンク付近など水のかからない場所、湿気の多い場所などは絶対に取り付けしないでください)
- ・ コントローラのサイズ及び配線図についてはコントローラ同梱の説明書をご参照ください。

3. パネルヒーター接続ケーブルの敷設、立ち上げ

- ・ ATTA-COUNTERからの接続ケーブルをコントローラ設置箇所まで敷設し、立ち上げます。
- ・ 隠蔽配線の場合、ケーブルの破損や熱による溶損などの恐れがある箇所をさけてください。
- ・ 露出配線の場合は、ケーブルを引っ掛けたりしないようモールなどで保護してください。

4. コントローラ接続および最終電気検査

4-1. 抵抗確認

- ・ まず、きちんと配線されているか確認を行い、回路の導体抵抗を測定してください。
- ・ 抵抗値が明らかに低い場合(目安として4~5Ω以下)は必ずパネル接続の確認を行うと共に、1回路当たりのパネル敷設枚数を確認してください。
- ・ 明らかに抵抗が高い場合(目安として数百~数千Ω以上)はパネルが直列に接続されていないか確認してください。

4-2. 絶縁抵抗確認

- ・ ATTA-COUNTER配線(黒白両方)と大地(アース)との間を測定し、500V 絶縁抵抗計で測定値が10MΩ以上であることを確認してください。

※ 測定直後は低い値が出ることがあります。1分程度継続して測定を行い安定した値を測定値としてください。

4-3. コントローラの接続

- ・ 下図のようにコントローラとATTA-COUNTER、電源線を接続してください。
このとき、入力側、出力側の接続位置を間違えないようにご注意ください。(もし間違ってしまった場合は、コントローラ等の故障の原因になったり、漏電、感電等の恐れがありますので十分ご注意ください。)
- ・ 配線のむき線長さは14mm としてください。

4-4. 通電試験

- ・ 通電を行い、全てのパネルの発熱部が温かくなることを手で触って確認してください。

5. ATTA-COUNTER ダミーキットの取り付け

ダミーキットは、カウンターの両端を隙間なく仕上げるための製品です。ダミーキットの取り付けおよび使用方法是以下のとおりです。

1. ATTA-COUNTER設置後、端からの寸法を測定してください。

すべての設置が完了し、ダミーパネルを取り付ける箇所を確認します。

両端それぞれ、端からATTA-COUNTER末端までの間隔寸法を測定します（反対の端も同様）。

※対象箇所の歪みがある場合がありますので、実寸より1～3mmくらい少な目にみてください。

2. ダミー板を必要な寸法にカットする。

1で測定した寸法にあわせてダミーパネルを切ります（ダミー板の初期寸法はW300です）。

※丸のこ等工作機械をご使用の際は十分取扱いにご注意ください。

3. ダミー板を取り付ける。

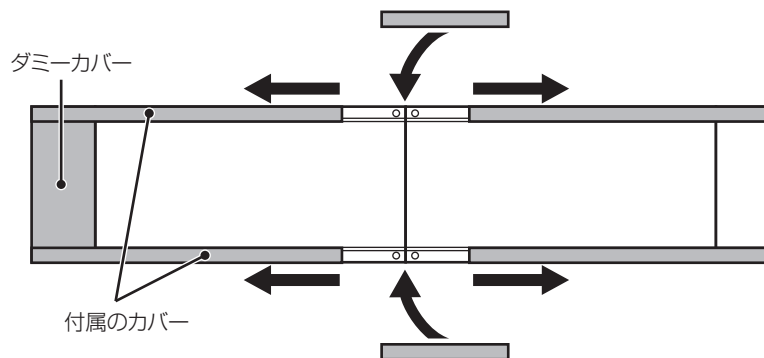
2で加工したダミーパネルをあわせて納まり具合を確認してください。問題がなければ木ネジで固定します。

4. ダミーカバーを取り付ける。

最後にダミーカバーを取り付けます。既に設置されているATTA-COUNTER本体の上下に付属のカバーを取り付けます。その後、両端に取り付けられたダミーパネルが隠れるようにスライドさせ、壁にトン付させます（反対側も同様に）。その後も隣のカバーをスライドさせて寄せ、ダミーパネルの長さ分の余白が中央くらいに来るようにします（上下とも同様に）。

こうして出来た余白寸法を測定し、ダミーカバーを切ります。（ダミーカバーの初期寸法はW900）

※切断用カッターなどのご使用の際には十分取扱いにご注意ください。



最後に、カットしたダミーカバーを嵌めこんで完成です。

以上のようにダミーキットを使用することにより、カウンター隅々まで一体化され、見た目も美しい仕上がりとなります。

製造販売元
エキップ株式会社
〒601-8469
京都府京都市南区唐橋平垣町64-6
TEL: 075-682-0288

※製品改良のため、仕様・デザイン等断りなく変更する場合があります。